

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

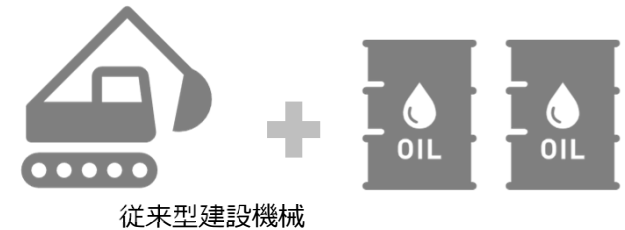
⑤ 低燃費型建設機械への更新による燃費性能の改善と競争力の向上

事業概要

事業者概要	事業者名	斉藤土木株式会社 (静銀リース株式会社)
	業種	建設業/不動産業
事業所	所在地	静岡県
	総延床面積	—
補助金額	補助金額	約59万円
	補助率	3% (総リース料に対する)
主な導入設備	従前設備	従来型建設機械
	導入設備	低燃費型建設機械
事業期間	稼働日	2022年12月
区分		更新
特長		燃料の使用量が従来の機種より削減されたため、災害時においても長時間の使用が可能になった。入札要件が省エネ性能の高い機械の導入有無の案件もあり、入札で有利に働いた。また、地域の方々に対して、環境負荷に資する取り組みをしているというイメージアップに繋がった。

システム図

実施前



実施後



写真

低燃費型建設機械



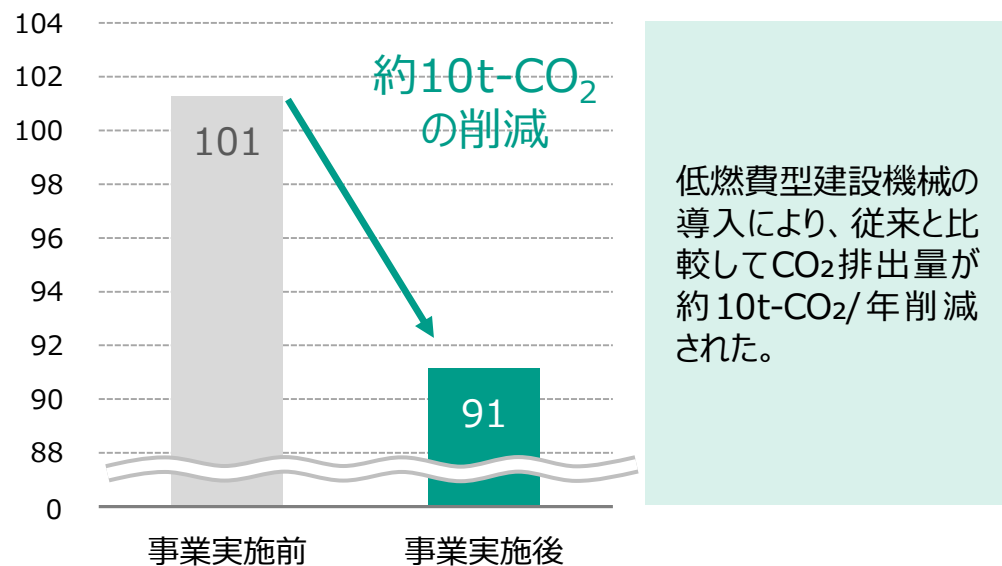
⑤ 低燃費型建設機械への更新による燃費性能の改善と競争力の向上

事業の効果

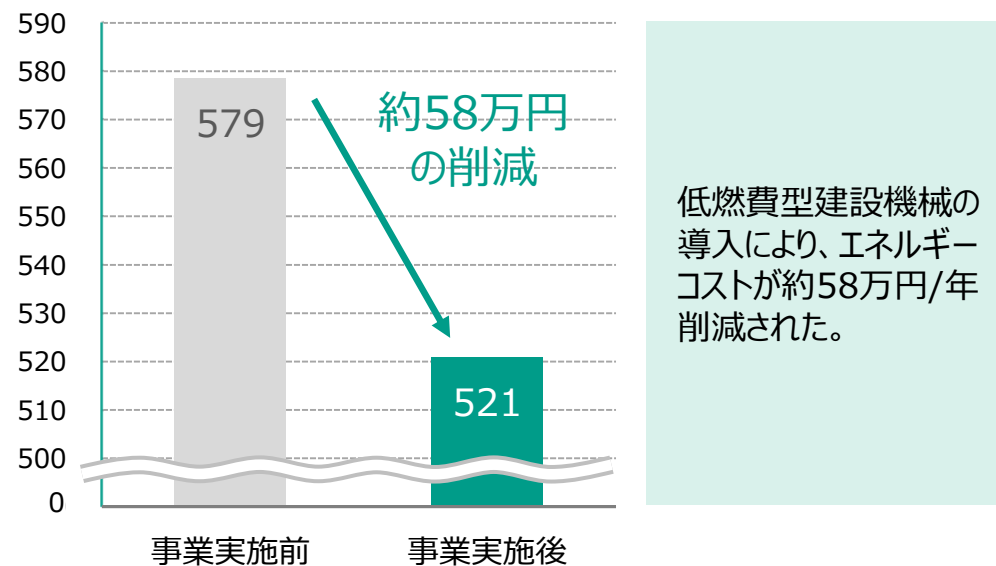
エネルギーコスト削減額		約58万円／年
投資回収年数	補助あり	約33年
	補助なし	約34年

CO ₂ 削減量	約10t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	9,672円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
 ※ ここに示す事業の効果は、軽油単価：149,600円/kℓ（出典：資源エネルギー庁HP）を用いて試算したものである。

⑤ 低燃費型建設機械への更新による燃費性能の改善と競争力の向上

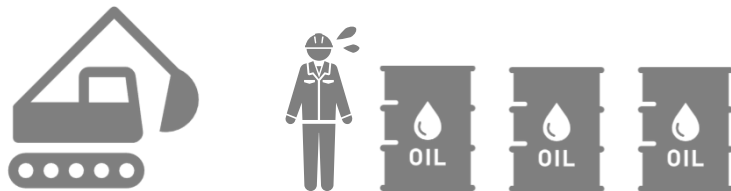
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「低燃費型建設機械への更新」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 燃料の使用量が従来の機種より削減されたため、災害時においても長時間の使用が可能になった。
- ・ 公共事業の受注時に省エネ性能の高い機械の導入が求められるため、入札で有利に働いた。
- ・ 地域の方々に対して、環境負荷に資する取り組みをしているというイメージアップに繋がった。

燃費性能向上による燃料使用量の削減

実施前 従来の機種では燃料を多く使用していた



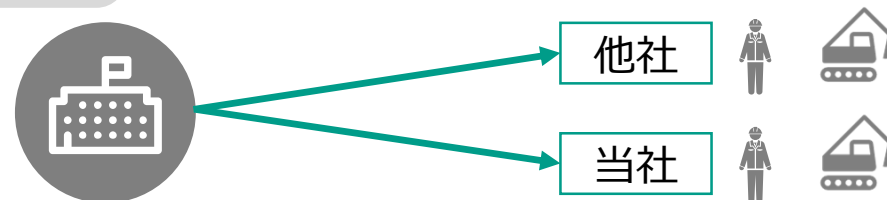
実施後 燃料の使用量が削減され、長時間の運転が可能になった



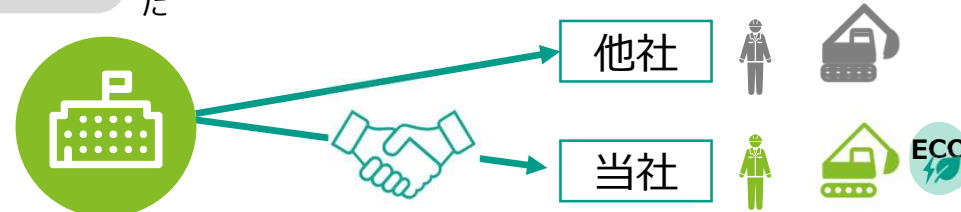
燃費性能の向上により、**長時間の運転が可能**となった。

環境配慮型の設備による競争力の向上

実施前 従来型建設機械では他社との差別化に繋がらなかった



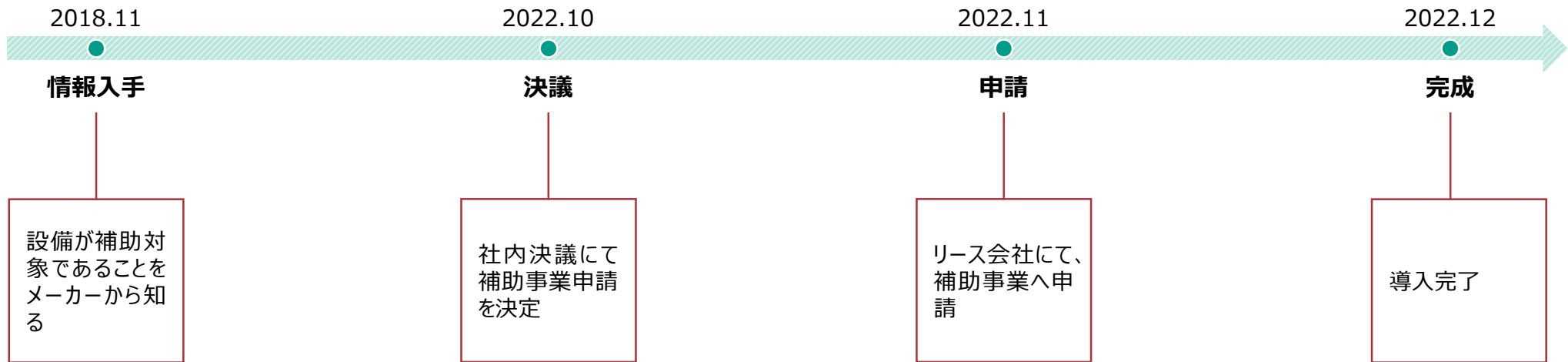
実施後 低燃費型建設機械の導入が他社との差別化を図るPR材料となった



環境に配慮した企業としてアピールが可能となり、**競争力が向上**した。

⑤ 低燃費型建設機械への更新による燃費性能の改善と競争力の向上

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



斉藤昭一
代表取締役

- ・ ハイブリット建機にしたことで、高騰しているエネルギーの削減が出来ました。
- ・ 工事においてハイブリット建機を使用したことで、当社（施工業者）だけではなく発注者様も環境に配慮した事をアピールすることが出来ました。